

J A M 政策NEWS

【発行】J A M

【発行責任者】大山勝也

【編集】社会政策局

03-3451-2586

E-MAIL : syakai@jam-union.or.jp

衆院厚生労働委員会

民主党・現行年金行政の不透明な運営を追及

4月14日、衆議院厚生労働委員会では、与野党による第2回目の審議がおこなわれました。

午前中は民主党の年金改革案に対する与党の厳しい質疑がありました。民主党は、自民党の宮澤・中西両議員による曲解した発言に対し「事実と異なる、撤回を」と強く講義し、審議が一時中断。さらに発言が撤回されるという厳しい展開になりました。

午後からは、民主党をはじめ野党による政府案への質疑が行われました。民主党は、厚生労働省、社会保険庁のこれまでの年金事務運営に関する不透明な問題について厳しく追及しました。これに対して森厚生労働副大臣は、的確な答弁をすることができず、答弁できなかった多くの問題について、今週中に調査の上、回答することを決まらされました。

< 民主党の年金改革案に対する質疑 >

【自民党・宮澤】民主党法案は、条文だけ見るとスウェーデン方式と同じなのではないか。最低保障年金は生活保護と同じではないか。最低保障年金の概念が難しい。

【自民党・中西】所得比例年金で、自営業者は保険料全額自己負担なのか。これは自営業者いじめではないのか。また年金目的消費税は保険料負担と二重取りではないか。

【民主党・枝野】スウェーデン方式を参考に日本的な年金制度にしたものであり、同一ではない。年金制度は負担と給付の原則に基づく加入者の権利。生活保護とは明確に位置づけが異なる。

【民主党・古川】厚生労働省は、厚生年金被保険者の「保険料負担と給付の倍率」を算出する際、事業主負担を被保険者が負担したものとみなしていない。この考えに基づけば自営業者も13.58%の半分でよいと考えられる。国民的議論を踏まえて決定していきたい。

【民主党・五十嵐】政府こそ2007年度から消費税引き上げを決めており、負担の引き上げ、給付の引き下げと併せれば三重取りではないか。

< 不透明な年金保険料流用問題の質疑 >

【民主党・中根】年金制度がおかしくなった最大の原因は、年金利権に群がる政・官・業の癒着。国民はそれを見透かし、年金不信が増大している。国民年金の収納対策として国民年金推進委員に持たせている「金銭登録機」は年金財源による負担だが、この納入業者の選定理由・経過等が不透明である。社会保険庁の配送ネットワーク業務を請け負っている業者の選定理由も不明確。厚生省OBの関連企業ではないのか。

無年金障害者を揶揄する社会保険事務所のチラシをつくり、その謝罪広告にも年金財源を充てた。江角マキコのCM採用を決めた社会保険庁広報委員会の責任者は処分されたのか

【森厚生労働副大臣】納入業者は複数社から選定したが、最終的には2002年中に全数納入可能だった1社に決めた。詳細は、調べて週内に報告する。CMの件は厚生労働大臣から社会保険庁長官に厳重注意した。

【傍聴日記】

4月14日の厚生労働委員会は、午前中と午後をあわせて200名が傍聴したそうです。

ところで、「金銭登録機」を納入した会社ですが、会社設立1年で全国の社会保険事務所に機械を納入したそうです。民主党議員が会社訪問したところ、担当者不在、会社のパンフレットもない。「名刺をください」と言うと「うちは名刺を使うような仕事をしていない」と言ったそうです。どうやって社会保険庁とアポイントをとったのでしょうか。